

横浜市立大学における国際化の推進

グローバル都市協力研究センター（GCI）設置の経緯

横浜市立大学は、**2009年9月に開催されたCITYNET**（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）横浜大会において、「都市と大学」というセッションを開催し、**主にアジア地域を中心とした国内外の大学と都市問題の解決を学術的な立場からサポートしていく、アカデミック・コンソーシアムを設立**しました。

このアカデミック・コンソーシアムを本学の国際化推進事業の核となる取組みとして位置付け、主な活動テーマを「**環境**」「**まちづくり**」「**公衆衛生**」とし、研究院調整会議で決定しましたユニットメンバーおよびアカデミック・コンソーシアム・メンバーにより「持続可能な都市をめざして」都市の諸課題を解決する活動を展開し始めています。

その成果として、**2010年8月には、アカデミック・コンソーシアム・国際シンポジウム、ならびに第1回総会を開催**しました。また、2010年10月には**アカデミック・コンソーシアムと世界銀行が連携協力に関する覚書(MOU)を締結**し、活動の基盤を築いてまいりました。

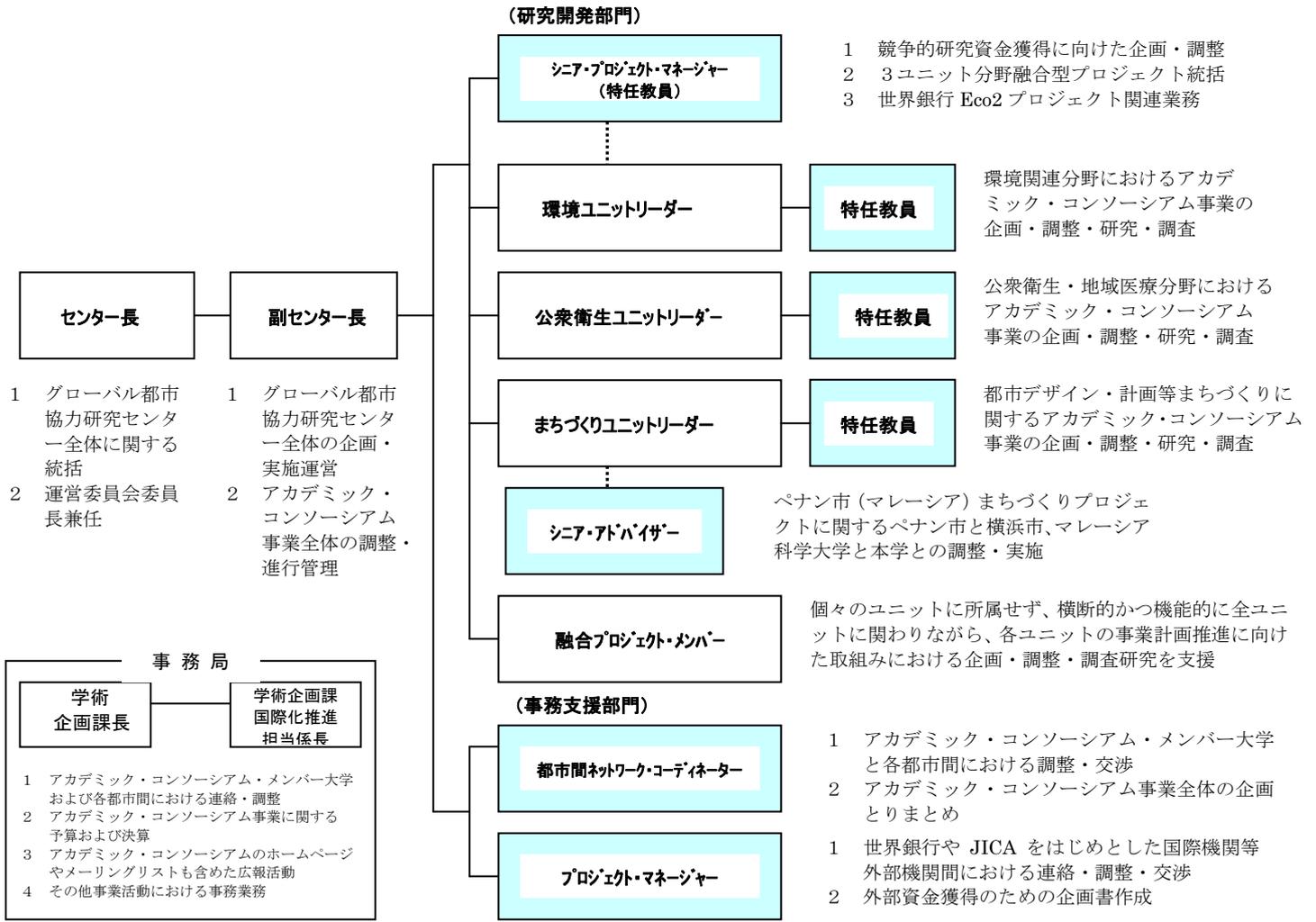
今後、アカデミック・コンソーシアム事業の拡大が想定される中で、さらに体制を整え、活動を推進する必要があることから、グローバル都市協力研究センターの設置について、月例のアカデミック・コンソーシアム・メンバー会議で検討ののち、学内会議では国際化推進委員会、教育研究会議、あわせて経営方針会議にも諮り、検討を進めてまいりました。

本学の国際化を推進するため、アカデミック・コンソーシアム事業の推進体制として、グローバル都市協力研究センターを設置します。

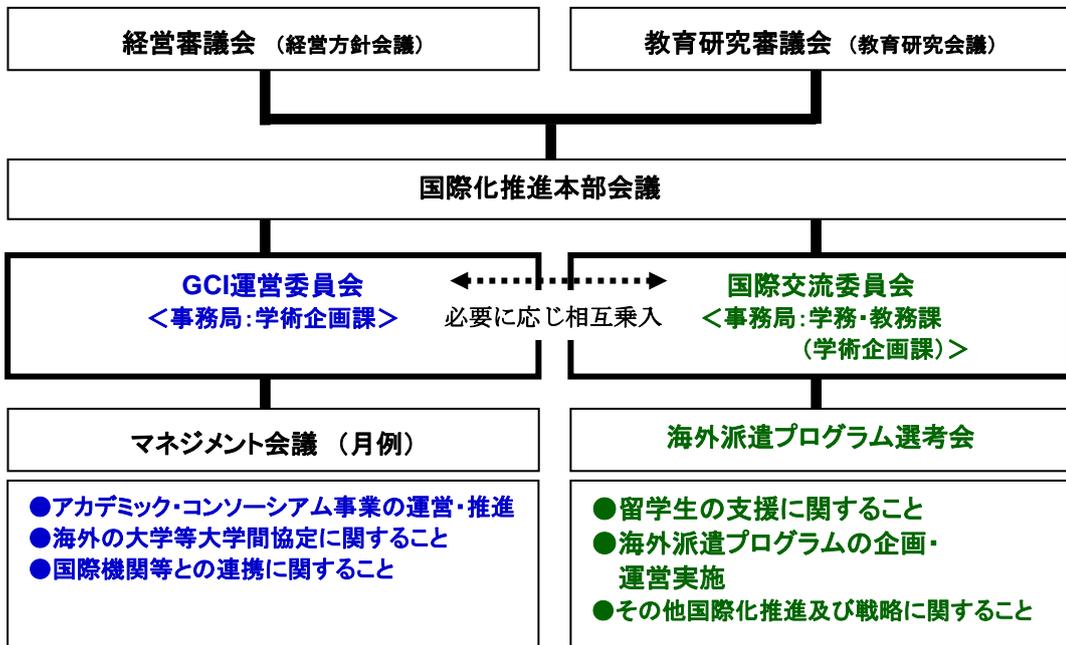
～ 設置までの活動経緯とこれからの予定 ～

| | | |
|--------------|-----------|---|
| 平成21年 | 9月 | CITYNET 横浜大会で「都市と大学」をテーマにセッションを開催。アカデミック・コンソーシアムの設立 |
| 平成21年 | 10月 | メーリングリスト・ホームページの立上げ |
| 平成22年 | 5月 | 研究院調整会議においてユニットメンバーの確定 |
| 平成22年 | 7月 | Eco2 ワークショップ出席（世界銀行主催：スリランカ） |
| 平成22年 | 8月 | アカデミック・コンソーシアム・国際シンポジウム開催 |
| 平成22年 | 8月 | 第1回アカデミック・コンソーシアム総会開催 |
| 平成22年 | 9月 | アカデミック・コンソーシアムの規約を策定 |
| 平成22年 | 10月 | アカデミック・コンソーシアムと世界銀行との MOU 締結 |
| 平成23年 | 2月 | Urban Week Presentation(世界銀行主催：ワシントン)出席 |
| 平成23年 | 2月 | 第2回総会開催校マレーシア科学大学にて協議・ペナン市役所等とプロジェクトに関する協議 |
| 平成23年 | 3月 | まちづくりユニットによるシンポジウム開催 |
| 平成23年 | 4月 | グローバル都市協力研究センター設置 |
| 平成23年 | 6月 | 環境ユニットによるシンポジウム開催（中国） |
| 平成23年 | 8月 | 第2回アカデミック・コンソーシアム総会開催（マレーシア） |

グローバル都市協力研究センター (GCI) 組織図 (案)



国際化事業に関する運営組織 (案)



— Eco2を柱としたアカデミック・コンソーシアムの具体的取組 —

**ミッション・ステートメント
(使命)**

国境を超えた地球レベルの問題に取り組む、グローバルな視野を持って活躍する人材を育てるとともに、横浜市の社会インフラとして、横浜市の国際政策と連動しながら、さまざまな分野での国際的な貢献を実現していきます。

THE WORLD BANK 世界銀行
対国・政府への支援に限界。都市ベースの支援が必要

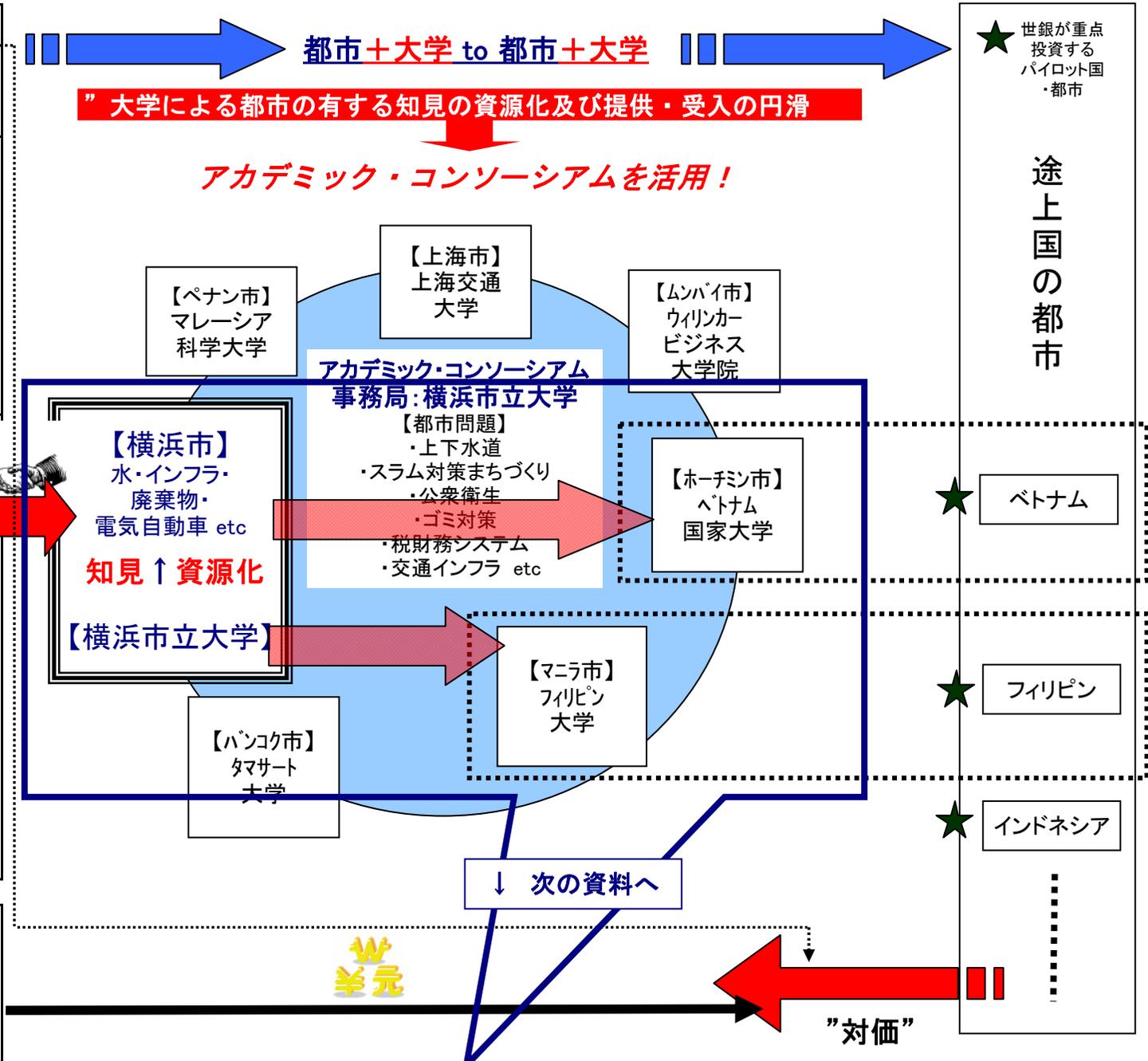
▼Eco2プログラム
経済成長を維持しつつ、環境にも配慮した都市化を進めることで持続可能な都市社会の実現を目指す

Eco2都市とは?
Eco2 Cities
Ecological Cities as Economic Cities
エコロジカル(環境配慮)で経済的な都市

▼世界の成功モデル都市 取組み

| | |
|-------------------|----------|
| ・横浜市(日本) | 廃棄物対策 |
| ・ストックホルム市(スウェーデン) | 都市循環システム |
| ・バンクーバー市(カナダ) | 土地利用計画 |
| ・クリチバ市(ブラジル) | 都市計画・開発 |

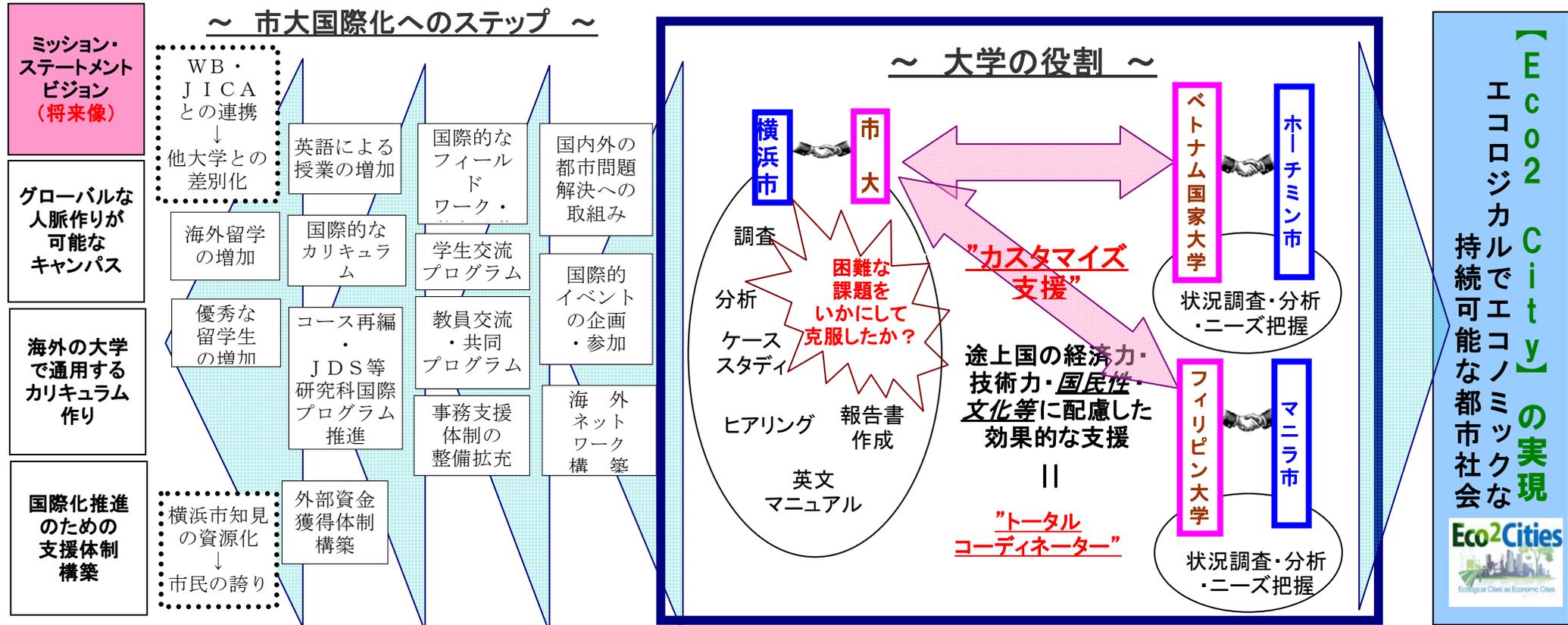
JICA 独立行政法人 国際協力機構
実のあるODAの使い方を模索



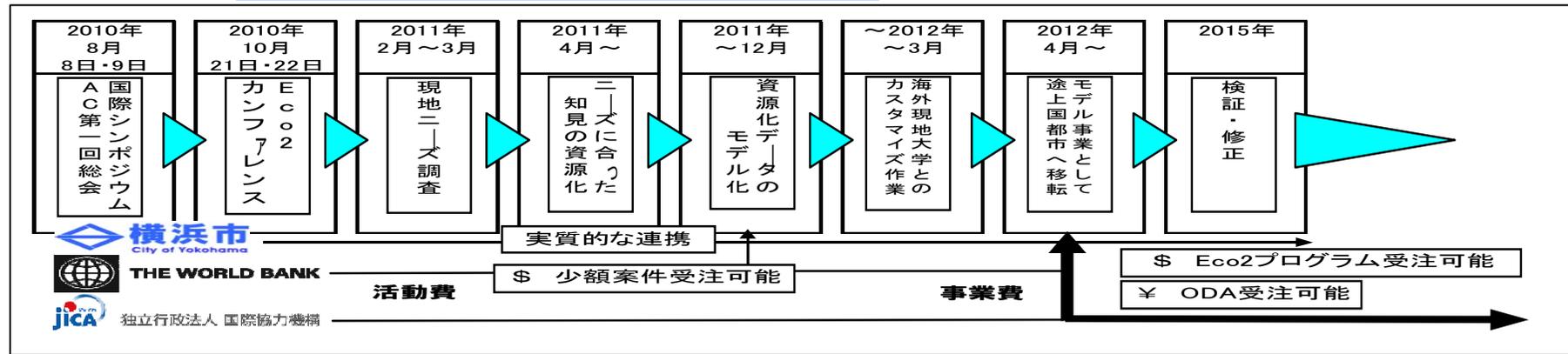
— アカデミック・コンソーシアムを核とした活動による市大の国際化実現へ —

ミッション・ステートメント (使命)

国境を超えた地球レベルの問題に取り組む、グローバルな視野を持って活躍する人材を育てるとともに、横浜市の社会インフラとして、**横浜市の国際政策と連動しながら、さまざまな分野での国際的な貢献**を実現していきます。



活動計画について (※可能な限り、各ステップで学生が参画する)



プロジェクト
タイムスパン: 7年?

発
形
実
評

掘
成
施
価

1年
1年
5年
半年
2年毎